

少林寺拳法競技要項

令和8年度

1【期日・時間】

5月24日(日) 9:30～(開始式)
10:00～(競技開始)

2【会場】

高知工業高等学校 武道場 (体育館1階)

3【種目】

組演武、単独演武、団体演武

4【競技規定】

全国高等学校少林寺拳法大会規則並びに(一財)少林寺拳法連盟の定める競技規則及び審判規則に基づき行う。

5【競技方法】

男子の部			女子の部			演武時間
種目	人数	構成	種目	人数	構成	
組演武	2名	競技Ⅰ	組演武	2名	競技Ⅰ	1分30秒～2分00秒
		競技Ⅱ			競技Ⅱ	時間制限なし
単独演武	1名	自由	単独演武	1名	自由	1分00秒～1分30秒
団体演武	6名	規則	団体演武	6名	規則	1分30秒～2分00秒

- (1) 選手は武階に応じた6構成からなる演武を定められた時間内に行い、審判規則による得点で優劣を競う。ただし、演武者が「見習い・6級・5級・4級」の場合は3級科目まで、「3級・2級・1級」の場合は初段科目までの技が使用できる。
- (2) 組演武は令和8年度全国大会(夏)に準じて行う。競技Ⅰは、全国大会における予選競技Ⅰ(自由組演武)とする。競技Ⅱは、全国大会における予選競技Ⅱ(防具を着用した規定組演武)であり、着用する防具は、少林寺拳法公認のボディプロテクター(二重構造の胴)、ヘッドガード、拳サポーター、ファールカップ(二重構造のもの:男子のみ)とし、構成は次の①構成Aおよび②構成B(各6構成)とし、構成A・構成Bのどちらで実施するかについては、前日の会場準備の日に抽選で決定する。詳細は「組演武予選競技Ⅱについて」を参照のこと。

①構成A

1. 内受突(裏) 連反攻
2. 下受蹴 連反攻
3. 外受蹴(裏) 連反攻
4. 突天一 連反攻
5. 突天三 連反攻
6. 払受蹴 連反攻

②構成 B

1. 上受突(表) 連反攻
2. 轉身蹴 連反攻
3. 外押受突 連反攻
4. 混天一 連反攻
5. 蹴天三 連反攻
6. 燕返 連反攻

(3) 団体演武は、(一財)少林寺拳法連盟の定める競技規則により 1・6 構成目については単独演武とし、2～5 構成目については相対演武とする。1・6 構成目については、次の単演基本形から選ぶこととする。

天地拳第 1～6 系 義和拳第 1・2 系 龍王拳第 1・3 系
龍の形(逆小手) 紅卍拳 白蓮拳第 1 系

6 【参加資格】

- (1) 高知県高等学校体育大会一般要項に従う。
- (2) (一財)少林寺拳法連盟の令和 8 年度登録済みのものであること。但し、登録とは所属先の団体登録(更新)・個人登録(更新)をいう。

7 【参加制限】

- (1) 団体演武は各校 1 チームとし、補欠は 2 名まで可とする。
- (2) 組演武・団体演武の 3 人掛け及び男女の混合は認めない。
- (3) 組演武・団体演武とも、同一校に在籍する生徒とし、組演武・単独演武は 1 人 1 種目とする。ただし、団体演武と組演武、団体演武と単独演武は重複しての出場は可とする。

8 【表 彰】

- (1) 団体、個人とも種目の第 1 位、第 2 位、第 3 位までとする。

9 【その他】

- (1) 全国 I H の出場権は、県体で各種目上位から組演武 2 組、単独演武 2 名、団体演武 1 組が出場権を得る。
- (2) 四国大会の出場権は、組演武・単独演武は各種目上位から順に、組演武・規定組演武については各種目 6 組、単独演武・規定単独演武については各種目 6 名が、団体演武は上位から 2 組が得る。ただし、規定組演武・規定単独演武については段外者に限る。
- (3) 本大会ではゼッケンを使用しない。ただし、四国大会・全国 I H においてはそれぞれ規定のゼッケンが必要となる。
- (4) 部長・監督・引率者会議および審判会議は、5 月 24 日(日) 9:00 より大会会場で行う。
- (5) 申込書の電子データ(Excel ファイルのまま)を(6)宛送信すること。
- (6) 問い合わせ先

高知工業高等学校 中村文香

TEL 088-831-9171

Email fumika7923@g.kochinet.ed.jp